

Ⅱ-3 子ども同士のトラブルにどうかかわりますか

【プログラムのねらい】

- ・子どものトラブルにかかわるあいまいな対応は子どもを傷つけ、親子の信頼関係にどんな影響を及ぼすかを考える。
- ・疑似体験をし、気持ちを共有することにより、子どものトラブルへの対応の仕方を学ぶ。

【プログラムの展開例】

| 時間 | 進め方 | 準備 |
|-----|--|--|
| 10分 | <p>▶ アイスブレーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け（4～5人のグループに分ける） | P2「アイスブレーキング各種」参照 |
| 30分 | <p>▶ Work</p> <p>エピソードを読み、「健太郎くんや母親だったらどんな対応をするか」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健太郎くんの気持ちを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ※ブランコに乗れないことへの気持ち ※横入りをしている啓介への気持ち ※倒すつもりはなかったこと など ・健太郎くんの母親としての対応の仕方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ※健太郎くんに対して 健太郎くんの気持ちに共感しながらも、気持ちの伝え方へのアドバイス（言葉で伝える・倒したことへの謝罪等） ※啓介くんに対して けがをしていないか確認し、健太郎に謝罪させながら、健太郎くんにもブランコに乗らせてあげてねと頼む等 ※啓介くんの母親に対して 啓介くんを倒したことに対して謝罪しながら、健太郎くんの気持ちについて伝える等 | <p>エピソード メモ用紙配布</p> <p>メモに書く 健太郎の立場になって みることで、母親として 我が子にどう対応するか のヒントを得る。</p> <p>親同士のいい関係が、 子どものトラブルの時に も影響することに気付ける ように。</p> |
| 20分 | <p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 | 振り返りシート |